

# IPA 情報発信第 158 号 (2017 年 6 月)

2017 年 7 月 4 日

独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)

理事長 富田 達夫

## <IPA 情報発信第 158 号の内容>

### 今月のトピックス

#### 1. 2017 年度「未踏 IT 人材発掘・育成事業」採択プロジェクトを決定

本年度は 20 件のプロジェクト（クリエイター数：29 名）を採択しました。採択プロジェクトの中には、最近注目を集める IoT、ロボット、深層学習に関するものなど多種多様な内容が含まれています。

#### 2. 「セキュリティ・キャンプ全国大会 2017」参加者を決定

「セキュリティ・キャンプ全国大会 2017」の参加者を決定しました。本年は募集人数を例年の 50 名から 80 名に拡大し、「集中コース」を新設しました。

#### 3. 産業サイバーセキュリティセンター短期プログラム「業界別トレーニング」の受講者募集を開始

業界特化型の短期プログラムとしては第一弾となる、「電力業界、不動産・ビル管理業界」の CISO 補佐向け「業界別トレーニング」の受講者募集を開始しました。

### I. 安全な IT 社会の実現

1. 「情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）」向け集合講習を開始
2. 「セキュリティ・ジュニアキャンプ in 高知 2017」を開催
3. 「セキュリティ・ミニキャンプ in 近畿 2017（神戸）」を開催
4. 第 13 回 IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2017 の作品募集を開始
5. 「CCDS セキュリティシンポジウム 2017」にて講演
6. 重要なセキュリティ情報（6 月）

### II. IT システムの安心・安全の確保と開発・利活用の効率化

1. 共通語彙基盤イベント「つながるデータで築く未来」を開催
2. 「つながる世界の開発指針（第 2 版）」を公開
3. 「長崎県『第 1 回有識者懇談会』」にて講演
4. 「I・TOP 横浜『キックオフイベント』」にて講演
5. SEC セミナー開催報告（6 月）と SEC セミナー開催案内（7 月）

### III. 未来の IT 社会を担う人材の育成とビジネス支援・技術開発促進

1. 「i コンピテンシ ディクショナリ 2017」を公開
2. 「2016 年度未踏事業クリエイター交流会」および「2016 年度（第 23 回）未踏 IT 人材発掘・育成事業修了式兼スーパークリエイター認定証授与式」を開催
3. 「ITPEC 試験問題選定会議」を開催
4. 平成 29 年度春期「情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）試験」および「情報処理技術者試験」（応用情報技術者試験、高度試験）の合格者を発表
5. 平成 29 年度秋期「情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）試験」および「情報処理技術者試験」の受験申込みの受付を開始

## 今月のトピックス

### 1. 2017 年度「未踏 IT 人材発掘・育成事業」採択プロジェクトを決定

(担当：イノベーション人材センター)

IPA は、2017 年度「未踏 IT 人材発掘・育成事業」の公募採択の結果を 6 月 8 日（木）に公開しました。

応募のあった提案テーマについて、プロジェクトマネージャー（PM）がそれぞれの審査基準に基づき独自の観点で採択候補を審査・選定し、未踏事業審査委員会での審議結果を踏まえ、20 件のプロジェクト（クリエイター数：29 名）を採択しました。

採択プロジェクトの中には、最近注目を集める IoT、ロボット、深層学習に関するものなど多種多様な内容が含まれています。

2017 年度「未踏 IT 人材発掘・育成事業」の採択結果の詳細は、次の URL をご覧ください。

[https://www.ipa.go.jp/jinzai/mitou/2017/koubokekka\\_index.html](https://www.ipa.go.jp/jinzai/mitou/2017/koubokekka_index.html)

### 2. 「セキュリティ・キャンプ全国大会 2017」参加者を決定

(担当：イノベーション人材センター)

IPA は、若年層の情報セキュリティ人材の育成を目的とした「セキュリティ・キャンプ全国大会 2017」の参加者を決定しました。

本年は募集人数を例年の 50 名から 80 名に拡大し、4 泊 5 日の日程で行われます。また、今年で 14 回目となる全国大会では、「集中コース」（3 日間連続で特定の分野を学び続ける専門講義）を新設しました。集中コースでは、各自「ものづくり」についての開発テーマを設定し、ハッカソン形式による開発演習を行います。

IPA は、実際のものづくり体験を通じて、開発者目線でのセキュリティを考えるきっかけ、セキュリティを考えたものづくりをするきっかけを提供します。

「セキュリティ・キャンプ全国大会 2017」の詳細は、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/jinzai/camp/2017/zenkoku2017.html>

### 3. 産業サイバーセキュリティセンター短期プログラム「業界別トレーニング」の受講者募集を開始

(担当：産業サイバーセキュリティセンター)

IPAは、産業サイバーセキュリティセンターの人材育成事業において提供する短期プログラムとして、業界特化型の短期プログラムとしては第一弾となる「電力業界、不動産・ビル管理業界」のCISO補佐クラスの方に向けた「業界別トレーニング」を実施することとし、6月23日（金）から受講者の募集を開始しました。今回の開催概要等は、次のとおりです。

テーマ	業界戦略・経営課題解決のためのセキュリティ戦略
概要	国内外規制動向、想定内・外リスクに関するシナリオを用いた演習（グループワーク）
対象者	電力業界、不動産・ビル管理（ディベロッパー）業界において、サイバーセキュリティ対策を統括されているCISO/CIO補佐（課長クラスを想定）に相当する役割を担っている方
日程	8月25日（金）10：00-18：00 8月26日（土）9：00-16：00
会場	IPA（東京都文京区本駒込2-28-8文京グリーンコート内）
定員	25名
受講料（2日間）	8万円（税込み。事前資料・テキスト代含む）

なお、「業界別トレーニング」は、2018年3月末までに2回の実施（秋・冬各1回）を予定しており、他の対象業種のプログラムも順次投入予定です。

産業サイバーセキュリティセンター短期プログラム「業界別トレーニング」の詳細については、次のURLをご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/about/press/20170623.html>

## I. 安全な IT 社会の実現

### 1. 「情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）」向け集合講習を開始

（担当：HRD イニシアティブセンター）

IPA は、国家資格「情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）」の集合講習を 6 月 20 日（火）から開始しました。また、集合講習の講師をご紹介する Web ページを 6 月 23 日（金）に公開しました。

制度が始まって初となる第 1 回集合講習では、24 名の登録セキスペが参加しました。講習は、グループ演習でのケーススタディを中心としたもので、「組織におけるセキュリティインシデントの対応・予防策」や「倫理的な判断・行動」などのテーマについて、受講者の経験や知見に基づいた活発な議論が多く交わされました。

受講生からは「それぞれの知見に基づく意見を聞くことができ、有意義であった。」「グループディスカッションで、自分の知識レベルを再認識することができた。」などの意見がありました。

IPA は、講師の皆さまをはじめ、様々な有識者の方々の協力をいただきつつ、より良い講習の提供に努めてまいります。

「情報処理安全確保支援士 集合講習講師のご紹介」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/siensi/kousi.html>

### 2. 「セキュリティ・ジュニアキャンプ in 高知 2017」を開催

（担当：イノベーション人材センター）

IPA は、高知工業高等専門学校、セキュリティ・キャンプ実施協議会と共同で「セキュリティ・ジュニアキャンプ in 高知 2017」を 6 月 24 日（土）から 25 日（日）までの 2 日間開催しました。

高知県でのセキュリティ・キャンプ地方大会の開催は初めてで、専門講座を実施しました。

専門講座（参加者 25 名）では、ロボットカーの製作を通じて、セキュアなプログラミングを考察する講義などが行われました。

「セキュリティ・ジュニアキャンプ in 高知 2017」の詳細については、次の URL をご覧ください。

[http://www.ipa.go.jp/jinzai/camp/2017/jrcamp2017\\_kochi.html](http://www.ipa.go.jp/jinzai/camp/2017/jrcamp2017_kochi.html)

### 3. 「セキュリティ・ミニキャンプ in 近畿 2017（神戸）」を開催

（担当：イノベーション人材センター）

IPA は、一般財団法人関西情報センターサイバーセキュリティ研究会、兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科と共同で「セキュリティ・ミニキャンプ in 近畿 2017（神戸）」を6月30日（金）から7月1日（土）までの2日間開催しました。

兵庫県でのセキュリティ・キャンプ地方大会の開催は初めてで、一般講座と専門講座の2講座を実施しました。

一般講座（参加者145名）では、兵庫県警察本部からサイバー犯罪への対策について、一般向けの啓発講演などが行われました。また、専門講座（参加者19名）では、ハニーポット<sup>1</sup>を用いた攻撃の分析と攻撃情報の活用方法に関する講義などが行われました。

「セキュリティ・ミニキャンプ in 近畿 2017（神戸）」の詳細については、次の URL をご覧ください。

[http://www.ipa.go.jp/jinzai/camp/2017/minicamp2017\\_kobe.html](http://www.ipa.go.jp/jinzai/camp/2017/minicamp2017_kobe.html)

### 4. 第13回 IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2017の作品募集を開始

（担当：セキュリティセンター）

IPA は、2017年度に第13回目を迎える、情報モラル・情報セキュリティをテーマとした、標語・ポスター・4コマ漫画等のコンクール「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2017の作品の募集を6月1日（木）から開始しました。

IPA では情報セキュリティへの意識醸成を目的に、2006年から、小学生から高校生および高専生を対象とした標語、ポスター等の募集を行うコンクールを実施しており、本年で13回目（2007年は2回実施）を数えます。昨年度は全国から約7万4千点の応募がありました。

第13回 IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2017の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/event/hyogo/index.html>

---

<sup>1</sup> ハッカーやクラッカーとよばれる侵入者をおびき寄せるために、意図的に脆弱な状態で設置されたサーバやネットワーク機器。

## 5. 「CCDS セキュリティシンポジウム 2017」にて講演

(担当：ソフトウェア高信頼化センター)

IPA は、6 月 9 日（金）にホテル雅叙園東京（東京都目黒区）で行われた「CCDS セキュリティシンポジウム 2017」にて講演しました。

本シンポジウムは、一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会（CCDS）の主催による、IoT 機器・サービス開発企業の経営者や技術者等を対象としてサイバーセキュリティと IoT の最新動向の共有を図るためのもので、IPA は「『つながる世界の開発指針』を具体化した実践に向けた手引きを紹介～IoT 時代の安全安心確保に向けた IoT 高信頼化機能の紹介～」というテーマで講演を行いました。当日は 121 名の方に参加いただき、盛況のうちに終了しました。

IPA では、今後も IoT 機器・サービス開発企業の経営者や技術者などが、IoT 時代に求められる安全・安心な製品の開発を推進していくための啓発活動を継続していきます。

「CCDS セキュリティシンポジウム 2017」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ccds.or.jp/event/2017/20170609/20170609.html>

## 6. 重要なセキュリティ情報（6 月）

(担当：セキュリティセンター)

IPA では、インターネットを使っている多くの利用者が影響を受けるセキュリティ対策情報を対象に「重要なセキュリティ情報<sup>2</sup>」として公開しています。

「重要なセキュリティ情報」とは、放っておくと不正アクセスやデータが盗まれるなどの危険性が高いセキュリティ上の問題と対策についてお伝えするもので、IPA 情報発信では 2013 年 12 月より広く啓発するため記載しています。発信情報から、ご自身の PC やシステムへの影響を判断の上、速やかな対策を心がけてください。

6 月は、「緊急」3 件、「注意」1 件を公開しました。

重要なセキュリティ情報の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/announce/alert.html>

---

<sup>2</sup> 「重要なセキュリティ情報」は、次の基準で対策の緊急度を表しています。

「緊急」・・・影響度の高いセキュリティ上の問題があると公表された情報でかつ、当該問題を悪用した攻撃が実際に行われているケース。

「注意」・・・影響度の高いセキュリティ上の問題があると公表された情報又は、当該問題を悪用した攻撃が行われる可能性があるケース。

## Ⅱ. ITシステムの安心・安全の確保と開発・利活用の効率化

### 1. 共通語彙基盤イベント「つながるデータで築く未来」を開催

(担当：国際標準推進センター)

IPAは6月29日(木)に、経済産業省(東京都千代田区)で経済産業省と共同で共通語彙基盤の理解を広めるためのイベントを開催しました。

近年、「官民データ活用推進基本法<sup>3</sup>」が2016年12月9日に制定されるなど、社会経済におけるデータの重要性への認識が高まっており、官民が様々な計画立案を始めています。

本イベントの冒頭には、井原巧経済産業大臣政務官から、オープンイノベーションが活性化する社会を実現するために、官民データ活用の円滑化、連携強化が必須となり、その対応策としてIPAが進めるIMI(情報共有基盤)の整備に期待するとのご挨拶がありました。メインセッションとなる第一部では「つながるデータ」への期待や課題、今後の取り組みなどについて講演とパネルディスカッションを通して紹介しました。また、技術セッションとなる第二部では相互運用性の高い「つながるデータ」を構築するための共通語彙基盤事業の概要と、IPAの提供するツールを使って活用するための具体的な手順について、デモを交えて実践的に解説しました。

当日はのべ280名の参加者にご聴講いただき、多くのご質問やご意見をいただきました。

本イベントの詳細については、次のURLをご覧ください。

共通語彙基盤イベント「つながるデータで築く未来」

<https://imi.go.jp/event/0001.html>

「共通語彙基盤活用実践セミナー」

<https://imi.go.jp/event/0002.html>

### 2. 「つながる世界の開発指針(第2版)」を公開

(担当：ソフトウェア高信頼化センター)

IPAは、6月30日(金)に「つながる世界の開発指針 ～安全安心なIoTの実現に向けて開発者に認識してほしい重要ポイント～」<sup>4</sup>を改訂し、第2版として発行しました。

第2版では、安全安心の観点で利用時の品質に関する内容を追記すると共に、一部の指針の見直しや情報の最新化を行いました。また、併せて、開発指

<sup>3</sup> 2016年12月9日閣議決定([http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/hourei/pdf/detakatsuyo\\_honbun.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/hourei/pdf/detakatsuyo_honbun.pdf))

<sup>4</sup> IoT製品の開発者が開発時に考慮すべきリスクや対策を指針として明確化したもの。

<http://www.ipa.go.jp/sec/reports/20160324.html>



針のチェックリスト（第2版対応）も公開しました。

「つながる世界の開発指針（第2版）」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/sec/reports/20170630.html>

### 3. 「長崎県『第1回有識者懇談会』」にて講演

（担当：ソフトウェア高信頼化センター）

IPA は、6月16日（金）に長崎県庁（長崎県長崎市）で行われた「長崎県『第1回有識者懇談会』」<sup>5</sup>にて講演しました。

本会は、長崎県内経済において先駆的視点での力強い変革の動きを生み出すことを目的として、全国レベルで活躍する専門的な知見を有する有識者と経済界・県関係者の意見交換の場として開催されました。

IPA は「IoT が生み出すビジネスイノベーションと IPA の取組み」というテーマで講演しました。当日は長崎県知事をはじめ長崎商工会議所や長崎経済同友会の役員など県の代表者や産業界の代表者が多数集まり、活発な意見交換が行われました。

IPA では今後も各地域自治体・産業界の IoT 推進への支援を継続していきます。

### 4. 「I・TOP<sup>6</sup>横浜『キックオフイベント』」にて講演

（担当：ソフトウェア高信頼化センター）

IPA は、6月20日（火）にパシフィコ横浜（神奈川県横浜市）で行われた「I・TOP 横浜『キックオフイベント』」にて講演しました。

I・TOP 横浜とは横浜経済の強みである「ものづくり・IT 産業の集積」を活かし、IoT 等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームのことで。

IPA は「つながる世界のセキュリティ設計実践に向けて」というテーマで講演を行いました。当日は約 650 名の方に来場いただき、盛況のうちに終了しました。

IPA では今後も各地域自治体・産業界の IoT 推進への支援を継続していきます。

「I・TOP 横浜『キックオフイベント』」の詳細については、次の URL をご覧

<sup>5</sup> 長崎都市経営戦略推進会議・佐世保地域経済活性化推進協議会・長崎県主催の懇談会

<sup>6</sup> I・TOP:IoTオープンイノベーション・パートナーズ



ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/happyou/h29/20170530104625.html>

## 5. SEC セミナー開催報告（6月）と SEC セミナー開催案内（7月）

（担当：ソフトウェア高信頼化センター）

IPAは、事業成果を広く普及・啓発することを目的としたセミナー、ソフトウェア・エンジニアリングに関する国内外の最新動向などを紹介する特別セミナーをそれぞれ実施しています。

6月は、次の日程で実施しました。

- ・システムの信頼性向上に向けたソフトウェア開発定量管理の勧め～定量的データに基づくソフトウェア開発のプロセス改善を目指して～（6月9日）

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20170609.html>

- ・「ユーザのための要件定義ガイド」の紹介とその活用方法～要求を明確にするための勘どころを解説～（6月15日）

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20170615.html>

- ・安全安心なIoTに必要な機能とは～『つながる世界の開発指針』の実践に向けた手引き」を解説～（6月16日）

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20170616.html>

- ・「システム再構築を成功に導くユーザガイド」の紹介とその活用方法～再構築のリスクと対策の合意に向けて～（6月21日）

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20170621.html>

- ・事例から学ぶITサービス高信頼化へのアプローチ～障害事例から根本原因を分析し教訓化するプロセスを学習～（6月28日）

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20170628.html>

- ・IoT時代のシステム開発の課題に立ち向かう～システムズエンジニアリング導入の勧め～（6月30日）

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20170630.html>

7月は、次の日程で開催を予定しています。

- ・ETWest2017 併催：特別講演 IS-1  
機能安全開発への STAMP/STPA の適用事例（7月12日）

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20170712a.html>

- ・ ETWest2017 併催：特別講演 IS-2  
IoT時代の到来に向けた安全・安心な社会の構築への取り組み～「つながる世界の開発指針」の概要と IoT 高信頼化機能の紹介～（7月13日）  
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20170713a.html>
- ・ ETWest2017 併催：IPA セミナー  
頼れる IT 社会の実現を目指して 他 3 件（7月13日）  
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20170713b.html>
- ・ 共通フレーム解説とプロセス改善推進セミナー～ソフトウェア開発プロセスにおける組織の課題を見つけて改善するために～（7月26日）  
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20170726.html>
- ・ IT プロジェクトの見える化と定量的管理の実践例～可視化とベンチマーキングによる信頼性・生産性向上～（7月31日）  
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20170731.html>

### Ⅲ. 未来の IT 社会を担う人材の育成とビジネス支援・技術開発促進

#### 1. 「i コンピテンシ ディクショナリ 2017」を公開

(担当：HRD イニシアティブセンター)

IPA は、6 月 20 日（火）、組織内の人材育成や組織力強化に活用できるツールとして提供している「i コンピテンシ ディクショナリ（以下、iCD）」の最新版「iCD2017」を公開しました。

「iCD2017」では、本年 4 月に公開した「ITSS+」<sup>7</sup>への対応を含め、6 つのタスクと 2 つのスキルを新たに追加・変更しました。

【「iCD2017」の変更点】

	項目	変更点
タスクディクショナリ	UI デザイン	新規追加
	IoT システム・サービスのライフサイクル	新規追加
	コールセンター	新規追加
	事業継続マネジメント	強化
	セキュリティ領域*	新規追加
	データサイエンス領域*	新規追加
スキルディクショナリ	IoT 技術に関するスキル・知識	新規追加
	セーフティに関するスキル・知識	新規追加

\* 「ITSS+」への対応

また、併せて iCD をウェブサイトから利用できる「iCD 活用システム」及びポータルサイトである「iCD オフィシャルサイト」の機能追加を行いました。今回の更新では、新たに検索機能が追加され、タスクやスキルに紐づく研修・書籍・資格の情報が検索できるようになったほか、他組織、自組織の研修・書籍・資格の情報が「iCD 活用システム」で一元的に管理可能になりました。

本件の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/about/press/20170620.html>

#### 2. 「2016 年度未踏事業クリエータ交流会」および「2016 年度（第 23 回）未踏 IT 人材発掘・育成事業修了式兼スーパークリエータ認定証授与式」を開催

(担当：イノベーション人材センター)

IPA は、「2016 年度未踏事業クリエータ交流会」および「2016 年度（第 23

<sup>7</sup> ITSS+(プラス) : <https://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/itssplus.html>

回) 未踏 IT 人材発掘・育成事業修了式兼スーパークリエイター認定証授与式(式典)」を、6月3日(土)に大手町サンケイプラザ(東京都千代田区)で開催しました。

交流会では、2016年度に採択された16プロジェクトのクリエイターが未踏事業期間中に培った成果を展示し、50名を超える産学等からの来場者と交流を図り、親睦を深めました。修了式では、夏野統括プロジェクトマネージャー(PM)からのクリエイターに対する応援メッセージに続き、各PMから担当したクリエイターと実施プロジェクトの紹介があり、30名のクリエイターに未踏事業修了の証となるトロフィーが授与されました。また、認定証授与式では、竹内統括PMの挨拶の後、15名のスーパークリエイターに対し認定証が授与されました。

IPAでは、本事業を修了した未踏クリエイター達がITによる社会の革新を興すことを期待しています。

本交流会および式典の詳細については、次のURLをご覧ください。

[https://www.ipa.go.jp/jinzai/mitou/2016/juyoshiki\\_23th.html](https://www.ipa.go.jp/jinzai/mitou/2016/juyoshiki_23th.html)

<https://www.facebook.com/ipa.mitou/>

### 3. 「ITPEC 試験問題選定会議」を開催

(担当：IT人材育成企画部)

IPAは、6月14日(水)～6月16日(金)にウランバートル(モンゴル)で「ITPEC 試験問題選定会議」を開催しました。

本会議では、ITPEC<sup>8</sup>参加7カ国の試験実施機関の試験委員など26名が参加し、第24回「アジア共通統一試験」<sup>9</sup>(2017年10月29日(日)実施予定)で使用する試験問題の精査・選定などを行いました。検討の結果、今回新たに各国で作成した「基本情報技術者試験」及び「応用情報技術者試験」相当の試験問題は、それぞれ次の通り出題されることになりました。

#### ■基本情報技術者試験

・午前試験 32問(全80問中<sup>10</sup>)                      ・午後試験 8問(全8問中)

#### ■応用情報技術者試験

・午前試験 28問(全80問中)                      ・午後試験 3問(全7問中)

IPAは、ITPEC参加各国が共同で質の高い試験問題を作成できるよう、今後も

<sup>8</sup> フィリピン、タイ、ベトナム、ミャンマー、マレーシア、モンゴル、バングラデシュの7カ国が参加する、我が国の情報処理技術者試験をベースとした「アジア共通統一試験」を実施するための協議会。

<sup>9</sup> アジアにおける質の高いIT人材の確保や流動化を図ることを目的として、ITPECの参加各国で年2回の試験を実施。

<sup>10</sup> 今回新たに作成し採用された問題のほか、過去のQuestion Bankからも出題。

問題作成のノウハウや運用面などで精力的に協力していきます。

#### 4. 平成 29 年度春期「情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）試験」および「情報処理技術者試験」（応用情報技術者試験、高度試験）の合格者を発表

（担当：情報処理技術者試験センター）

IPA は、平成 29 年度春期「情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）試験」、および「情報処理技術者試験」のうち応用情報技術者試験・高度試験（いずれも経済産業省所管、4 月 16 日（日）実施）の合格者を 6 月 21 日（水）に発表しました。

##### ■ 情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）試験

合格者に関する主な情報は以下のとおりです。なお、最年少合格者は 15 歳、最年長合格者は 65 歳でした。

	応募者数	受験者数	合格者数	合格率	合格者平均年齢
情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）試験	25,130	17,266	2,822	16.3%	36.5

合格者は、IPA に申請し、登録を受けることによって、名称独占の国家資格である「情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）」を取得することができます。登録手続き等に関する詳しい情報は、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/siensi/index.html>

##### ■ 情報処理技術者試験（応用情報技術者試験、高度試験）

合格者に関する主な情報は以下のとおりです。なお、今回の「エンベデッドシステムスペシャリスト試験」の最年少合格者は 16 歳であり、これまでの最年少（17 歳）を更新しました。

	応募者数	受験者数	合格者数	合格率	合格者平均年齢	
応用情報技術者試験	49,333	31,932	6,443	20.2%	29.4	
高度試験	プロジェクトマネージャ試験	18,291	11,596	1,521	13.1%	37.8
	データベーススペシャリスト試験	17,706	11,775	1,709	14.5%	31.5
	エンベデッドシステムスペシャリスト試験	4,590	3,394	607	17.9%	34.4
	システム監査技術者試験	4,151	2,862	433	15.1%	40.7

統計に関する詳しい情報については、次の URL をご覧ください。

[https://www.jitec.ipa.go.jp/1\\_07toukei/\\_index\\_toukei.html](https://www.jitec.ipa.go.jp/1_07toukei/_index_toukei.html)

## 5. 平成 29 年度秋期「情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）試験」および「情報処理技術者試験」の受験申込みの受付を開始

（担当：情報処理技術者試験センター）

IPA は、10 月 15 日（日）に実施する平成 29 年度秋期「情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）試験」および「情報処理技術者試験」（所管：経済産業省）の受験申込みの受付を 7 月 6 日（木）から開始します。受験の申込みは、郵便窓口やインターネットで行えます。申込方法によって締切日時が異なりますので注意してください。

### ■ 個人申込み

願書郵送申込み : 7 月 6 日（木）～ 8 月 3 日（木） 消印有効

インターネット申込み : 7 月 6 日（木）10 時～ 8 月 14 日（月）20 時

### ■ 団体経由申込み

7 月 6 日（木）～ 8 月 3 日（木）

※申込方法によって、締切時間が異なります。

平成 29 年度秋期「情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）試験」および「情報処理技術者試験」の詳細については、次の URL をご覧ください。

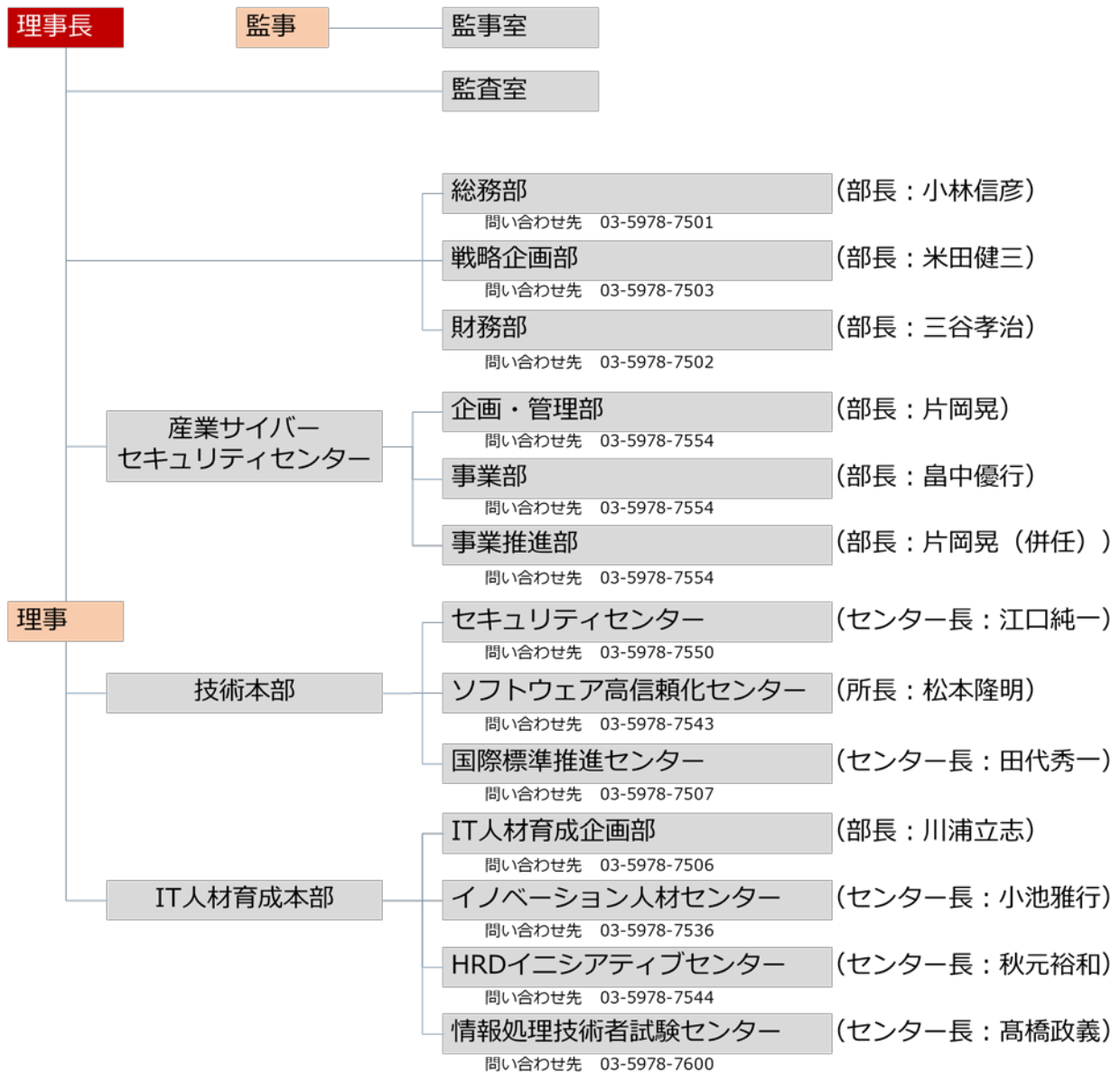
[http://www.jitec.ipa.go.jp/1\\_02annai/h29aki\\_exam.html](http://www.jitec.ipa.go.jp/1_02annai/h29aki_exam.html)

i パス（IT パスポート試験）については、CBT 方式にて随時試験実施中です。申込方法などの詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>



●IPA 組織図



本書に関するお問合せ先  
 戦略企画部 企画・調査G 福島・野村  
 〒113-6591  
 東京都文京区本駒込二丁目 28 番 8 号  
 文京グリーンコートセンターオフィス  
 TEL : 03-5978-7503  
 E-mail : spd-plan@ipa.go.jp